



## 男子第 63 回女子第 62 回西日本学生バスケットボール選手権大会

### 競技規則及び注意事項

1. 競技方法 トーナメント方式（但し 3 位決定戦を行う）
2. 競技規則 現行の「日本バスケットボール協会競技規則」を適用する。
3. 組み合わせ
  - ・組み合わせ抽選は、主管学連である関西学生バスケットボール連盟、関西女子学生バスケットボール連盟（以下、主管学連とする）の責任抽選とする。
4. エントリー
  - ・スタッフのエントリーは、部長、主務の各 1 名と、副部長、総監督、監督、助監督、コーチ A・コーチ、学生コーチ、トレーナー、副務、マネージャーの中から 5 名の計 7 名とする。また、部長が監督を兼任している場合は 1 名と数える。
  - ・選手の大会エントリーは、18 名以内とし、選手のゲームエントリーも、同じ 18 名以内とする。
  - ・外国人選手のエントリーについて人数制限はないが、競技中、1 チームでプレイできる外国人選手を 1 名とする。
  - ・その他は全日本大学バスケットボール連盟の規約に準ずる。
  - ・エントリーの追加・変更は、一切認めない。
5. ユニフォーム
  - ・ユニフォームは、組み合わせ番号の小さいチームが淡色、大きいチームが濃色を着用する。また、全員が自チームのユニフォームで同じ色形のものとする。  
(ゼッケンの使用・テーピング等での加工は認めない)
  - ・エントリー番号は 1～99、及び 0 または 00 番とする。（同一チーム内で 0 番と 00 番は同時にエントリーすることを認めない）
  - ・指定された番号以外のユニフォームを着て試合に出場することは認めない。  
※出場した場合は、試合終了後に競技部長の判断の元で処分を下す。
  - ・ユニフォームの下に T シャツを着用することは認められない。
  - ・ユニフォームのシャツからはみ出してしまう上半身用・腕用のサポーター様のもの(パワー・サポーター、パワー・スリーブなど通常のサポーターを含む)を着用する場合、淡色(白色)のユニフォームの場合は、ユニフォームと同色のものを着用すること。濃色のユニフォームの場合に限り、ユニフォームと同色もしくは黒色のものを着用することができる。
  - ・ユニフォームのパンツの下にパンツより長いパンツ様の物(パンツからはみ出してしまうアンダー・ガーメント・パワータイツなど)をはくことは、パンツと同じ色であっても認められない。
  - ・下脚部または大腿部のサポーター(パワー・サポーター、パワー・ソックスを含む)を着用する場合、淡色(白色)のユニフォームの場合は、ユニフォームと同色のものを着用すること。濃色のユニフォームの場合に限り、ユニフォームと同色もしくは黒色のものを着用することができる。また、これらを着用する場合は下脚部のものは膝下までのもの、大腿部のものは膝上までのものでなければならない。
  - ・やむを得ない事情により上記を遵守できない場合は、事前に当連盟に申請し、許可を得ること。



・テーピングを施した部位がユニフォームのシャツやパンツからはみ出してしまっている場合は、それぞれユニフォームと同様の色のサポーターを用いて覆っておくことが望ましいが、必ずしもその部位を覆わなくてもよく、テーピング等の色もユニフォームと同色でなくてもよい。

・膝・足首・肩などの固定用サポーターに関しても、ユニフォームと同様の色のものであることが望ましいが、必ずしもユニフォームと同様の色のものでなくてもよい。

・手甲・リストバンドはユニフォームと同色が望ましい。

※なお、このユニフォーム規則は男子第 63 回女子第 62 回西日本学生バスケットボール選手権大会のみ適用される。

6. ベンチ
- ・ベンチは、組み合わせ番号の小さいチームが、オフィシャル席に向かって右側とする。
  - ・ベンチにはゲームエントリーされた選手及び、スタッフ以外入ることができない。
7. オフィシャル
- ・オフィシャルは、全ゲーム主管学連の指定により行う。（組合せで確認の事）
  - ※棄権があった場合、棄権のあった試合の次試合のオフィシャルは前試合の負けチームが行う。
  - ・オフィシャルに当たっているチームは必ず 10 分前までに集合し、原則 7 名で行うこと。
8. メンバー表
- ・メンバー表は、当連盟指定の用紙を用い、代表者会議でチェックを受け試合開始 45 分前には、会場本部にコピーしたメンバー表を提出する。
9. ゲーム開始
- ・ゲーム開始は、原則として定刻通りに開始する。但し、前ゲームが定刻に終了しない場合、前ゲーム終了 10 分後に開始する。
10. ウォームアップ
- ・ハーフタイムに次の試合の両チームはコートでアップを行うことが出来ない。ハーフタイムは試合を行っている両チームがウォームアップを行えるものとする。また、次の試合の両チームは当連盟指定の場所でのみウォームアップを行うものとする。
  - ・第 1 試合のアップでのコート使用は、会場設営が終わり次第可とする。
  - ・没収試合または、棄権が発生したコートでの練習は、定刻開始 20 分前から使用可能とする。（ボール使用可）
11. 棄権
- ・試合開始予定時刻より 15 分遅れた場合は棄権とみなす。
  - ・**無断で棄権した場合は 2 年間の出場停止とする。**
12. シード権
- ・昨年大会（2012 年）のベスト 8 チームにシード権を与える。ベスト 9～16 チームについては、抽選によりシード順位を決定する。
13. 注意事項
- ・試合球は 12 面体を使用する。（主管学連で用意する）
  - ・開場時刻は**第 1 試合開始時刻の 1 時間半前とする。**
  - ・選手は、危険と思われるものは身につけない。（指輪・ピアス・ヘアピンなど）
  - ・ビデオを撮影する際はバッテリーを使用する。（会場のコンセントの使用禁止）
  - ・ベンチからのビデオ撮影を禁止する。
  - ・イン・アウト用シューズの区別をはっきりさせる。（フロアを傷つける物は禁止する）
  - ・各チームは、負傷に対しての処置に配慮し、保険証または、そのコピーを持参する。
  - ※大会中、各自でスポーツ傷害保険に加入するなど、自己責任で対処すること。試合中の事故についても主催者は責任を負わない。



- ・ 主管学連の発行する、IDカードの提示のない者は、フロアへの出入りを認めない。
- ・ 各チームで出したゴミは必ず各チームで持ち帰る。
- ・ 貴重品の管理は各チームで行う。
- ・ **各施設の利用規則を厳守する。**

※上記の規定にない競技上の問題が生じた場合は、本大会競技委員会の裁定に従うこと。

西日本学生バスケットボール連盟